

大阪探検隊
Osaka City Expeditionary party

[リニアモーターカー]

Liner-Express

= 時速500km リニアモーターカー試乗体験記 =

鉄道で世界最速を誇る日本のリニアモーターカー。東京と大阪を結ぶ中央新幹線の一部として山梨に約18kmが建設され、走行試験が行われています。試乗会の募集が年に数回あります。応募5回目でやっと当選、乗って来ました。



新幹線で行きましたが、倍の速さ、しかも浮くと思うとワクワクします。昼過ぎに見学センターに到着。リニアの概要や仕組みを模型やパネル、ビデオ等で紹介する施設です。展望台から走行試験の見学ができます。入場は無料です。



指定時刻に受付へ。待合室でリニアの仕組や歴史、計画の説明を受け、指定の号車順にいよいよ乗車。



ホームは建物の通路で仮設です。車両とは壁と窓で完全に遮断、飛行機のように乗降口のドアから伸縮式の短いデッキを通して乗り込みました。車両のドアは上にスライドする珍しい開き方をしています。



車内全体の空間はやや狭く、片側2席ずつで15列並んでいます。シートの幅や間隔、座り心地やリクライニングなどは新幹線と同様、荷物を置く棚、座席背面のテーブルもちゃんとあり、座り心地は問題なし、合格です。



実験は、センターから実験線端部へ、続いて端部から端部へ、最後に端部からセンターへと3本。待望の500km走行は2本目です。

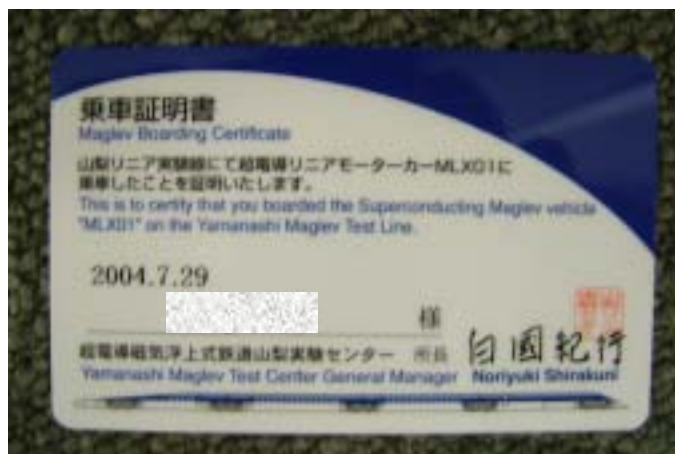


走行スタート。初めはタイヤ走行、飛行機の滑走のようです。かなりの加速で一気に時速130kmへ。タイヤの振動と音がなくなり、浮いたって分かりました。ただ、想像していた滑らかな浮上走行とは違い、小刻みな縦揺れが続きます。さらにぐんぐん加速、車両前方の速度表示板が遂に500へ。歓声とカメラのフラッシュが入り混じります。あっけなかったですが感動しました。でも、縦揺れは続いています。



実験線はほとんどがトンネルで、景色が見えるのは見学センター付近約1.2kmの区間、わずか8秒間だけです。見学センターはぶっつんで行きました。速い！って実感できるわずかな瞬間でした。

試乗を終えて、ネーム入りの乗車証明書を受け取り、次の走行実験を見学すべく展望台へ。目の前を500kmで通り過ぎたリニアには大感動。乗るよりも見る方の感動が大きかったです。



建設費の問題で実現できていないと思っていましたが、あの縦揺れに1時間では、技術的に実用レベルまで至っていないと言えます。上海空港線のリニアは時速430kmで営業していますがどうなのでしょう。所要時間が8分程度なので問題ないのかもしれませんが...

経済情勢や人口減少を考えると、少なくとも近い将来に国内で実現するのは難しい(技術の海外輸出しかないかな)と思います。当分はここだけかも...。テーマパークの乗り物と思って、是非一度体験してみてください。試乗会の開催案内と申し込みは以下のHPで案内されています。

https://linear.jr-central.co.jp/test_ride/index.asp

